隊員と家族をつなぐ

家族会ほっとライン

自衛官の人的基盤強化①

石破茂総理大臣のリーダーシップで令和６年10月９日に設置された「自衛官の処遇・勤務環境の改善及び新たな生涯設計の確立に関する関係閣僚会議」は、12月20日にその基本方針をまとめ、発表しました。そしてその具体的な内容の多くが令和７年度政府予算案に盛り込まれ、３月31日、国会で成立しました。

今月から４回にわたって、基本方針で盛り込まれた内容について紹介します。

防衛力の最大の基盤である自衛官

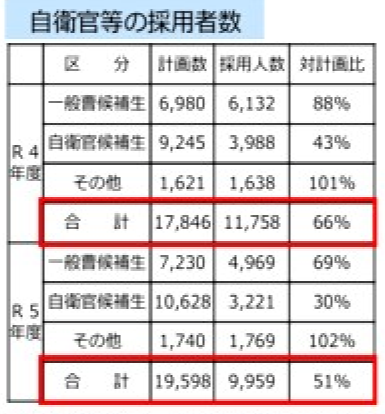
昨年10月25日に第１回会議が開催され、石破総理大臣は「我が国は戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に直面しています。このような中、防衛力の最大の基盤である自衛官については、定員割れが続いており、処遇改善、勤務環境の改善のほか、若くして定年退職を迎える自衛官が現役時代の知見や技能をいかしつつ、退職後も社会で存分に活躍できる生涯設計を描けるようにすることが喫緊の課題となっています」「自衛官諸君が、安んじて国防という国家にとって極めて枢要な任務に、誇りと名誉をもって専念できるよう、この会議における議論を踏まえ、万全の体制を構築してまいります」と意気込みを述べました。

「万全の体制を構築」と石破総理大臣（官邸Ｗｅｂ）

厳しい募集環境の実態

石破総理大臣が「喫緊の課題」とした背景には、自衛官の「定員割れ」の現状があります。第１回会議で防衛省は、令和５年度の募集状況について説明しました。

「戦後最も厳しく複雑な安全保障環境に対応した防衛力の抜本的強化のためには、その担い手である自衛官の確保が至上命題。しかしながら、少子高齢化の大きな流れの中、現下の人手不足は自衛隊にも深刻な影響を及ぼしている。５年度は２万人募集のところ１万人しか採用できず、24・7万人の定員中、２万人の欠員がさらに４０００人増加した。令和６年度予算の年間充足率は約92％としているが、このまま抜本的な策を講じなければ、こうした状況はさらに悪化することが見込まれる」と危機感をにじませました。



自衛官等の採用者数

	区　分	計画数	採用人数	対計画比
R４年度	一般曹候補生	6,980	6,132	88%
	自衛官候補生	9,245	3,988	43%
	その他	1,621	1,638	101%
	合　計	17,846	11,758	66%
R５年度	一般曹候補生	7,230	4,969	69%
	自衛官候補生	10,628	3,221	30%
	その他	1,740	1,769	102%
	合　計	19,598	9,959	51%

令和の時代にふさわしい処遇

会議では、「これからの防衛力の担い手となる世代が、安心して厳しい任務に従事でき、自衛官という職業を選択したこと、現役時代は自衛官であること、退職後は自衛官であったことの誇りと名誉を得ることができるような、令和の時代にふさわしい処遇を確立する必要がある」として、主に以下の内容を検討するとしました。

1　処遇の改善

「任務や勤務環境の特殊性を踏まえた給与面の処遇の在り方」「自衛隊員として長年にわたり任務に精励した功績に相応しい叙勲等の在り方」

2　生活勤務環境の改善

「若い世代のライフスタイルに見合った生活勤務環境の構築」

3　新たな生涯設計の確立

「若年定年制における将来不安の払拭の観点から、自衛官としての知識・技能・経験を活かした再就職先の拡充等」

4回の関係閣僚会議を開催

昨年10月9日に設置されたこの会議は、10月25日、11月8日および26日、12月20日と、4回にも渡る高頻度で会議を開催し、基本方針を取りまとめました。

なお、そのメンバーは下記のとおりです。

議　長：内閣総理大臣
副議長：内閣官房長官
　　　　防衛大臣
構成員：国家公務員制度担当大臣　国家公安委員会委員長　総務大臣　財務大臣　文部科学大臣　厚生労働大臣　農林水産大臣　経済産業大臣　国土交通大臣

今回の基本方針のポイント

玉越寿志防衛省人事計画・補任課長に今回の基本方針のポイントについてお聞きしました。

◇　　◇

今回の基本方針により、ます、自衛官の生涯収入は大きく向上するものと考えています。

営舎内等の指定場所に生活する隊員への給付金の新設などにより、入隊時の年収がアップするほか、30を超える手当等の新設・拡充や俸給表の改定により、現役時代の処遇を改善します。処遇改善だけではなく、全ての自衛官が士気高く任務に専念できる環境を構築していくことも不可欠です。このため、居室の個室化や通信環境の拡充など隊員から要望の高い生活・勤務環境の改善や、時代の変化に合わせた組織文化の改革も進めていくこととしています。

新たな生涯設計の確立としては、関係省庁と連携しての再就職先の拡充、国による再就職支援の充実、定年年齢の引き上げ、若年定年退職者給付金の引き上げなどをパッケージで盛り込んでおり、自衛官の退職後の不安の払しょくにつながればと期待しています。

基本方針で取りまとめた施策を着実に実施するとともに、施策の深化に取り組んでいきます。

入隊・入校予定者激励会で門出を祝福

京田辺市（京都府）

京都府京田辺市の入隊・入校予定者激励会
予定者に激励の言葉と記念品贈呈

3月6日、京都府京田辺市役所の会議室で「令和6年度入隊・入校予定者激励会」が開催されました。京都府自衛隊家族会京田辺地区会からは叶会長、赤塚副会長、川嶋顧問が出席。

入校予定者と記念撮影

入隊・入校予定者は、防衛大学校の学生（男性）と一般曹候補生（海上自衛隊、男性・欠席）です。

まず、入隊・入校予定者2人が紹介され、その後、上村京田辺市長から防衛大学校入学予定者に激励の言葉が贈られました。さらに、田方京都地方協力本部長からも激励の言葉と、先輩としてのアドバイスが入隊・入校予定者に送られました。

防衛大学校入学予定者は、入校のきっかけや学生時代に力を入れていたこと、今後の目標について語り、入校後は仲間と共に切磋琢磨し、自衛官として国防に責任を持って貢献することを強い決意で述べました。その後、京田辺地区会から防衛大学校入学予定者に記念品（大学ノートのセット）が贈られ、叶会長からは激励の言葉と自衛隊家族会の紹介がありました。

最後に懇談と写真撮影が行われ、入隊・入校予定者激励会は終了しました。

（京田辺地区会
会長　叶　賢次）

和光市（埼玉県）

入隊・入校予定者激励会を開催
家族会の活動を紹介、入会促進を図る

埼玉県自衛隊家族会和光地区会（田上安男会長）は3月9日、和光市中央公民館において、入隊・入校予定者激励会を開催しました。

この催しは、昨年度に続く2度目の開催となり、入隊・入校を控えた予定者およびその保護者など、計8人が参加しました。

計8人が参加した激励会

激励会では、入隊予定者が新たなスタートを切るにあたり、家族会としても力強いサポートを送るべく、その意義を深く共有する場となりました。

当日は、柴崎光子和光市長、安保友博和光市議会議長、福本竹之助隊友会和光支部長などの来賓が祝辞を述べ、参加者に向けて温かい激励の言葉を贈ってくださいました。

入隊予定者は「入隊・入校に向けた意欲がますます高まってきました」と力強く述べ、その意気込みを新たにしました。

式典後、家族会の仲副会長が参加した保護者などに向けて家族会の活動内容を紹介しました。パンフレットを活用し、家族会の役割や支援活動について丁寧に説明し、今後の活動への理解を深めていただきました。

この機会を通じて、家族会への入会促進も呼びかけ、今後の活動に向けて更なる支援の輪が広がることを期待しています。

激励会を通じて、入隊・入校予定者たちは新生活のスタートに向けた自信を深め、これからの人生に向けて一層の決意を新たにしている様子がうかがえました。その表情からは、前向きな気持ちとともに、家族や地域社会への感謝の気持ちが感じられ、家族会としても彼らの未来を力強く支えていく重要な役割を改めて実感した一日でした。

（和光地区会
会長　田上　安男）

沖縄県

県自衛隊家族会、入隊・入校予定者を激励
家族会活動を紹介し、新たな仲間を募集

沖縄県自衛隊家族会（古門茂夫会長）は3月8日、沖縄地方協力本部（地本）の協力を得て、入隊・入校予定者を対象とした激励会を無事に開催しました。

会場には、在沖縄陸・海・空自衛隊指揮官をはじめ、衆議院議員の國場幸之助氏、沖縄県副知事の照屋義実氏、豊見城市長の徳元次人氏、沖縄県防衛協会の國場幸一氏、隊友会会長の平田善彦氏など、多くの来賓が集まり、予定者を温かく激励しました。

激励会では、限られた時間の中で、家族会会長の古門氏が沖縄県自衛隊家族会の活動紹介と、家族会への加入呼びかけを行いました。

会場内では、家族会の活動内容や目的について参加者たちに分かりやすく説明され、今後の活動への関心を高める時間となりました。

また、家族会の席に赴いた古門会長は、自衛隊家族会の紹介と入会案内を行い、参加者に直接話しかけていました。その後、参加者は各地区家族会のブースに分かれ、地区会長が地域に密着した活動内容や加入の利点を詳細に説明しました。

参加者に直接話しかける古門会長

会場は終始、参加者の熱心な関心を集め、活気に満ちたものとなりました。

沖縄県家族会は今後も自衛隊員やその家族を支援し、地域社会との連携を深めていく活動を続けていきます。

（沖縄県自衛隊家族会
会長　古門　茂夫）

山口市（山口県）

自衛隊入隊予定者への激励の集い
新自衛官歓迎式典と家族会の活動紹介

来賓および入隊予定者で記念撮影

山口県自衛隊家族会山口支部は2月16日、山口市吉敷地域交流センター講堂で「山口市自衛隊入隊予定者激励会」を開催。山口市や自衛隊山口地方協力本部、家族会山口支部のご支援をいただき、多くの来賓らと共に盛大に行われました。

今年、入隊予定者の中には親・子・孫三代にわたって自衛官となるご家族もいらっしゃいました。自衛隊を職業として選び、日本の国土と国民の生命を守る誇り高い役割を担うことを誓い、若き精鋭としてさらなる飛躍を期待しています。

式典には、入隊予定者7人とその家族10人、伊藤和貴山口市長、国会議員、東直史自衛隊山口地方協力本部長をはじめ、多くの来賓が出席されました。

式の進行は、防衛大臣のビデオメッセージ上映から始まり、開式、国歌演奏、支部長あいさつ、来賓祝辞、家族会役員紹介、祝電披露、家族会からの記念品贈呈、入隊予定者の謝辞、そして来賓と入隊予定者での記念撮影をもって終了しました。

また、家族会では式典前に役員から入隊予定者およびその家族に向けて家族会の説明と入会案内が行われ、4人のご家族が新たに入会を申し込まれました。

早朝から会場準備に携わった山口事業案内所の広報官、家族会役員の皆さんに感謝の意を表します。ありがとうございました。

（自衛隊家族会山口支部
支部長　重宗　正則）

中標津町（北海道）

四町合同での自衛隊入隊予定者激励会
11人の入隊予定者とその家族を盛大に応援

3月2日、「令和6年度自衛隊入隊予定者激励会」が中標津町の経済センターで開催されました。道東自衛隊家族会中標津地方支部（相澤進司支部長）の主催により、管内四町（中標津町・別海町・標津町・羅臼町）の合同で開催され、約80人が参加しました。

壇上にて紹介される入隊・入校予定者

この激励会には、衆議院議員の篠田奈保子氏、管内四町の各首長、さらに自衛隊帯広地方協力本部長代理の西脇隆博2等空佐ほかが主要来賓として出席。

11人の入隊予定者にお祝いの言葉と記念品を贈呈しました。

また、入隊予定者を支えてきた保護者の方々にも感謝と労いの言葉が贈られました。

入隊予定者を代表して、竹田力矢さんが「同期を大切にし、若さと情熱で頑張ります」と力強く決意表明をし、参加者の期待に応えました。

さらに、この激励会を通じて、4人の保護者が家族会活動に賛同し、入会の意志を示していただきました。

家族会としては、この成果を大きな励みにし、今後も関係団体と連携し、地域全体で自衛隊員募集の機運を高め、人的戦闘力維持に貢献していきたいと考えています。

（中標津地方支部
事務局　鶴原　重光）

広島県

激励会で家族会の活動や理念について説明
活動の意義を伝え、保護者に入会を呼びかけ

3月2日、広島県西部地区（大竹市・廿日市市・広島市佐伯区）で、4月入隊予定者の地区激励会が開催されました。廿日市市からは入隊予定者7人、家族7人が参加し、総勢44人が出席しました。入隊予定者は10人（対象者の約半数）、予定者の家族9人、来賓や会員も参加しました。

4月に自衛隊に入隊する若者たち

式典では、入山欽郎大竹市長から「自衛隊での厳しい訓練を乗り越え、立派な自衛官になり、国民のために頑張ってほしい」と激励の言葉をいただき、安井県議会議員、宮崎県議会議員、廿日市市長代理の藤井健二廿日市市総務部長からも激励の言葉が贈られました。

宮地裕広島地方協力本部長は「ここに集まった西部地区、部隊での同期の絆を大切にし、自衛官として成長してほしい」と激励しました。

続いて、応援ビデオが上映され、中谷防衛大臣、湯崎広島県知事、広島東洋カープやサンフレッチェ広島の選手たちから、新たな門出に向けたエールが送られました。

懇親会では、平口洋衆議院議員、山下県議会議員、新田廿日市市議会議長からも激励の祝辞をいただき、入隊予定者をはじめ、来賓やご家族、自衛隊家族会役員が和やかな雰囲気の中で交流しました。

また、懇親会では松井廿日市市危機管理専門監（自衛隊ＯＢ）が自衛官時代のエピソードを話され、同期や先輩、後輩との絆が自衛隊員の使命感を支える礎であることを改めて感じました。

最後は、八十田隊友会西部副支部長の万歳三唱で激励会が締めくくられました。

激励会に出席された入隊予定者、ご家族、来賓の皆さま、祝電をいただいた佐藤正久参議院議員、石井源太広島市佐伯区長、支援をいただいた広島地本・地域事務所の方々、そして自衛隊家族会会員・役員の皆さまに、心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。

（西部地区協議会
会長　山崎　修治）

中播磨（兵庫県）

自衛隊入隊・入校予定者激励会に参加して
未来の自衛官たちの決意と情熱に感動

3月8日、うららかな春の日差しの中、令和六年度採用試験を突破した中播磨地域の16人の自衛隊入隊・入校予定者激励会に参加しました。

まず、自衛隊姫路市家族会の山岡会長があいさつし、激励会が始まりました。

入隊・入校予定者代表による決意表明

松本剛明総務大臣（代理・令夫人）や姫路市市長、陸上自衛隊姫路駐屯地司令、国会議員、県会議員など、数多くの来賓が臨席し、賑やかで活力ある盛会となりました。

特に印象的だったのは、入隊・入校予定者代表の決意表明です。その言葉を聞いて、私はこれまでの若者に対する偏見を改めなければならないと感じました。

ある入隊者は姫路城改修記念行事でブルーインパルスの技を見て自衛隊に興味を持ち、調査の上で入隊を決意したと語り、また、別の入隊者は災害派遣のニュース映像を見て自衛隊員の姿に感動し、社会に貢献したいと決意したと述べました。さらに、ジブチで活躍する親戚を見て自衛隊に入隊した者もいました。

その一言一言に私は深く感動し、彼らがただの思いつきでなく、しっかりとした目的意識を持って入隊を決めたことに大きな尊敬を抱きました。

現在、わが国を取り巻く安全保障環境が厳しい中、こうした素晴らしい若者たちを自衛隊に迎えられることは、国家にとって貴重な宝と言えます。彼らの輝く瞳と意気込みを見て、日本の歴史と未来が確実に継承されることを確信しました。

会場を後にし、彼らが立派な自衛官として各地で活躍する姿を想像し、心からの期待を抱きました。

（姫路市家族会
理事役員　小嶋　栄治）

利府町（宮城県）

利府町自衛隊入隊予定者激励会
地域の支援と期待が込められた激励の場

宮城県利府町自衛隊家族会（加藤紫成会長）は2月22日、利府町役場の2階会議室にて、関係者40人が参加し、「利府町自衛隊入隊予定者激励会」を開催しました。

会の終わりに全員で記念撮影

この会は、利府町および宮城地方協力本部のご支援の下、行われました。

当日は、櫻井副町長、澤村宮城地方協力本部長、大平第22即応機動連隊本管中隊長を来賓に迎え、厳粛ながらも和やかな雰囲気の中で進行しました。

激励会では、入隊予定者6人の紹介が行われ、続いて来賓による祝辞がありました。さらに、中谷防衛大臣と村井宮城県知事からのビデオメッセージも放映されました。

祝辞では「国・人を守るという崇高な使命のため、身近な人を思う心が大切」「仲間を大事にしよう」「あなたの力を待っている人がいる」と激励の言葉が贈られました。

入隊予定者を代表して、岩渕怜さんが参加者に向けて「入隊の決意と激励会への感謝の言葉」を力強く述べ、参加者の期待に応える姿が印象的でした。

また、会の終わりには、自衛隊家族会の案内と入会説明が行われ、全員で記念撮影をして、和やかな雰囲気の中で閉会となりました。

この会を実現するために、早朝から準備に携わっていただいた宮城地方協力本部仙台募集案内所所長、広報官、そして家族会の皆さまに感謝申し上げます。

（利府町自衛隊家族会
会長　加藤　紫成）

編集後記

▽1面に統合作戦司令部の新設や自衛隊海上輸送群の新編など、防衛力強化が進んでいる状況を伝えています。また、防大・防衛医大の卒業式を紹介し、自衛官としての成長に期待が高まります。▽同じく1面左上には、（公社）自衛隊家族会の令和6年度第4回理事会の記事を掲載。6月の総会に向けた重要なイベントです。▽2面では「回想」として、令和6年度遠洋練習航海の記事を紹介。ご家族の心配もありますが、スマホが使えることもお伝えしています。▽また、桜林美佐氏の記事、自衛官の家庭支援の重要性と心の持ち方について考えさせます。▽3面には自衛隊家族会顧問の佐藤正久参議院議員の寄稿を掲載し、自衛隊の処遇改善の議論について触れられています。▽8面では新シリーズ「自衛官の人的基盤強化」を開始し、第1回目として内局人事計画・補任課長の寄稿をお届けいたします。▽5面と8面では、入隊・入校予定者激励の記事を掲載。新隊員の今後の活躍を祈念いたします。

定期購読のご案内
防衛省・自衛隊の様々なトピックスを満載した「朝雲」は、どなたでも購読できます。退官後も部隊や後輩の補職先、活躍ぶりが一目りょう然。お申し込みは下記へ。
税・送料込み　1年間契約 9,900円　半年間契約 5,500円
電話 03・3225・3841
FAX 03・3225・3831
朝雲新聞社
〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町12-20KKビル